

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【公開番号】特開2012-133582(P2012-133582A)

【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-284953(P2010-284953)

【国際特許分類】

G 06 T 1/00 (2006.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 41 J 29/46 (2006.01)

【F I】

G 06 T 1/00 310 A

B 41 J 3/04 101 Z

B 41 J 29/46 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月30日(2012.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

請求項1から5のいずれか1項に記載の不良記録素子の検出装置と、

複数の記録素子を第1の方向と平行な直線上に投影したときに各投影記録素子の間隔が記録ピッチWPとなるように前記複数の記録素子が配列された記録ヘッドと、

前記記録ヘッドに対して前記第1の方向と直交する方向に記録媒体を相対移動させる媒体搬送手段と、

前記各投影記録素子のうち検出ピッチ数PP毎の投影記録素子に対応する記録素子を作動させてライン状のテストパターンを記録する第1の記録制御手段と、

前記ライン状のテストパターンを読み取って読み取った画像信号に変換するテストパターン読み取手段であって、前記読み取った画像信号の前記第1の方向の読み取ピッチがWSであるテストパターン読み取手段と、

前記特定された不良記録素子の情報を記憶しておく記憶手段と、

前記特定された不良記録素子による記録動作を停止させ、当該不良記録素子以外の記録素子によって前記不良記録素子の記録欠陥を補償して目的の画像を記録するように画像データを補正する画像補正手段と、

前記画像補正手段による補正後の画像データに従い前記不良記録素子以外の記録素子の記録動作を制御して画像記録を行う第2の記録制御手段と、

を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

前記目的を達成するために請求項6に記載の画像形成装置は、請求項1から5のいずれか1項に記載の不良記録素子の検出装置と、複数の記録素子を第1の方向と平行な直線上

に投影したときに各投影記録素子の間隔が記録ピッチW Pとなるように前記複数の記録素子が配列された記録ヘッドと、前記記録ヘッドに対して前記第1の方向と直交する方向に記録媒体を相対移動させる媒体搬送手段と、前記各投影記録素子のうち検出ピッチ数P P毎の投影記録素子に対応する記録素子を動作させてライン状のテストパターンを記録する第1の記録制御手段と、前記ライン状のテストパターンを読み取って読み取画像信号に変換するテストパターン読み取手段であって、前記読み取画像信号の前記第1の方向の読み取ピッチがW Sであるテストパターン読み取手段と、前記特定された不良記録素子の情報を記憶しておく記憶手段と、前記特定された不良記録素子による記録動作を停止させ、当該不良記録素子以外の記録素子によって前記不良記録素子の記録欠陥を補償して目的の画像を記録するように画像データを補正する画像補正手段と、前記画像補正手段による補正後の画像データに従い前記不良記録素子以外の記録素子の記録動作を制御して画像記録を行う第2の記録制御手段と、を備えたことを特徴とする。